

- 1 日 時 令和3年(2021年)7月3日(土)10時00分~12時00分
2 場 所 筑波東中学校 体育館
3 市出席者 市長
公有地利活用推進課 課長、課長補佐、係長、係員1名
総合交通政策課 課長
サイクルコミュニティ推進室 室長、係長、係員1名
ジオパーク室 室長、係員1名
周辺市街地振興課 課長、課長補佐
4 一般参加者 42名

5 内 容

(1) 説明内容

筑波東中学校跡地利活用(案)について、別紙説明会資料を用いて説明した。

(2) 質疑・意見交換(●:参加者、○:市長、△公有地利活用推進課、

◇:サイクルコミュニティ推進室、□ジオパーク室)

- 校舎の空き教室(ジオパーク中核拠点施設及び自転車拠点施設以外の部分)について、地域で利活用の要望を出し利用していくことは可能か。
→○空き教室について、地域で利用していただくのが望ましいと考えており、どんな活用が考えられるか提案していただけるとありがたい。3階を利用する場合は、改めて設計費用等もかかるので、まずは1階を利用していただきたい。
→●市から具体的な利活用案が出され大変期待している。筑波地区も見捨てられておらず、地元も頑張らないといけないと思う。
→○筑波山は間違いなくつくば市の核となる存在である。筑波地区一帯を元気にすることは、つくば市全体にプラスになるものと思っている。ぜひ皆様からアイデアをいただき、一緒に活動させていただきたいと考えている。
- りんりんロードから筑波東中学校へのアクセス道路は小学生の通学路にもなっているが、トラックも通り危険である。市の道路拡幅の予定を伺いたい。
→○自転車拠点施設を整備するに当たっては、導線の確認や危険箇所の確認を行いできる限りの安全対策や道路の整備を行っていく。御指摘の正門から西側の道路拡幅については用地買収しており、筑波東中学校の利活用が決まれば道路の拡幅工事を行っていく。
- 計画しているBMXコースの対象年齢を聞きたい。体験やストライダー利用が可能か、また子どもが飽きたときに遊ぶ場所も設けるかお伺いしたい。

- 子どもたちが過ごせる場所としても大きな期待感を持っている。BMXは、3歳くらいから利用できる。スクールなど様々な形で子どもたちに楽しんでもらいたい。子のスクールの間に親がBMXを体験することも考えられる。今後の検討であるが、私の思いとしては筑波地区の皆様には無料体験などやオープン前に見ていただくような機会も設けたいと考えている。
- ◇ストライダーと呼ばれるランバイクの利用も可能である。秩父市のBMX施設では、ランバイクのイベントを実施しておりつくば市でも実施したいと考えている。子どもが飽きたときの利用として、ジオパーク拠点施設も体験型の展示も検討しており、BMXに飽きたらジオパーク施設を体験していただくことも考えられる。
- ジオパーク拠点施設も興味を持ってもらえる施設にしたいと考えている。つくば市らしい特徴的な取組をしてお金を払ってでも来ていただけるような施設にしたい。ジオパーク施設も展示の専門家と相談しながら施設の検討をしているところである。ジオパーク施設の最少年齢はどれくらいを想定しているか。
- ジオパークを子どもたちに伝えるのは難しく、課題となっている。子どもたちをターゲットにした仕組みや皆が来たいと思える施設にしたいと考えている。以前、筑波山の地質を体験するイベントを実施したことがある。小さい子は砂で遊ぶような感じになったが、体験を通して筑波山を少しでも知ってもらえたと思うので、3歳とまではいかないが小学生や小さい子どもでも楽しめる仕組みは作っていききたいと考えている。

●自転車拠点施設が整備されれば、筑波東中学校を拠点として北条のまちなかも通ると思うが、安全面の観点から自転車を通ることが分かるような道路のペイントなどをお願いしたい。

- 県道については、県で青いラインのペイントを計画している。自転車拠点施設が供用されると自転車を通る主なルートも見えてくると思う。状況に応じて、市道の誘導すべきルートについて安全対策を実施していきたい。走行マナーについても、一部の悪評でサイクリスト全体のマナーが悪いように思われてしまうので啓発を実施していきたい。弱虫ペダルサイクリングチームも、安全に自転車に乗ってほしいとの思いを強く持っているので、啓発、教育、ハード面の整備など取組を進めていきたい。

●計画しているBMXのコースは、他自治体のコースと比較するとどれくらいの規模になるのか。

- 国内では秩父市のBMXコースが先行事例であるが、計画しているスケー

スに秩父市のコースは入る想定である。また、海外のラトビアのコースを参考にスペースを確保しており海外クラスのコースが造れる面積も確保している。

→○BMXコースありきの計画ではなく、自転車拠点施設のコンテンツの一つがBMXということは御理解いただきたい。

→●駐車場は何台想定しているのか。

→□秀峰筑波義務教育学校でイベント等があるときは筑波東中学校のグラウンドを駐車場として利用している。300台程度の規模で協議しており、300台以上の駐車場を計画している。

●駐車場は24時間利用することが可能か。自転車の整備スペースはクローズする時間があると思うが、パンク修理キットや空気入れ等をいつでも利用できる状態にしておくのか。

→□校舎内の施設については、24時間オープンは難しい。屋外トイレは利用できるの、その様なニーズも想定して検討している。具体的には整備スペースも校舎外に設置したいと思っている。盗難防止のため、修理キットの自動販売機や埋め込み式や地面据え置き型の空気入れなどの事例を参考に検討していく。

●施設整備、運営となると金額の話は避けられない。サイクリングチームと連携することは良いことだと思うが、お金がからむと利害もからむのできちんと公募するか、集客や収入が見込めるのであれば市に還元する仕組みなども考えていくべきだと思う。

→□設計検討の中で費用も明らかになってくる。BMXコースの整備費については、秩父市の実績が7,500万円程度で目安と考えている。運営費については、BMXコースは利用料の徴収を想定しており、秩父市のBMXコースの利用金額を基に算出すると800万円程度の歳入は確保できると見込んでいる。弱虫ペダルのネーミングバリューも加わるとさらなる歳入も期待できる。

●今回の計画が地域振興の促進にもつながればと思っている。計画を実現できるように進めていただきたい。サイクリストが大池公園の駐車場を利用するため、我々が大池公園の体育館を利用するときには駐車場が満車ということがある。筑波東中学校に駐車場が整備され誘導できれば、大池公園利用者にとっても有益だろう。また地元の人が施設を利用しやすい環境も整えてほしい。大池公園の駐車場は雨が降ると水浸しになるので改修していただければと思う。

→○筑波東中学校に駐車場を整備することにより、大池公園駐車場の混雑は解消できると思う。サイクリストが大池公園に駐車しないような案内も必要だ

と思うので対応を検討していきたい。自転車拠点施設やジオパーク拠点施設が人気が出て地元の人が利用できないような状況になった場合は、定期的に地元の人が利用できる日を設定することもできるので、地域にとってプラスになるように検討していきたい。説明会を実施して終わりではなく、今後、設計、工事等に進んでいけば色々な意見も出てくると思うので、できるだけ皆様の声を聞きながら進めていきたい。

- 秀峰筑波義務教育学校は7年生から自転車通学となる。交通安全の啓発や自転車の乗り方の教室も合わせて実施していただきたい。
- 市役所では4月からサイクルコミュニティ推進室を設置したが、自転車施策の事業として自転車の安全な教育というものを実施していくことが本当の意味での自転車の活用につながると思っている。子どもたちの教育の場、自転車の楽しさを知る場にしていきたいと考えている。

●進め方が拙速すぎと感じている。ジオパーク施設の検討では、説明会やワークショップなどしながら進めていた。街づくり振興会では筑波東中学校利活用の提案をしたり、2年前にはスローマーケットも実施したり、それ以降も地域の人に利活用に関するアンケートをとったりしてきた。筑波山麓で活動している人は多く、そのような人たちの努力のおかげで筑波山麓の認知がされてきた。これまでの活動によりできてきた雰囲気は地域にあるものを活かすという取組みで、BMXはその雰囲気と合わない。BMXが整備されれば地域振興になるということではなく、地域の自転車好きが不動峠の清掃を行ったり、りんりんロードとの相乗効果もあって自転車で訪れる人が増えている。ボトムアップで地域が良くなってきたところに、急にBMXコースが整備されると自転車の質も悪くなると思う。そういった人が自転車で事故を起こしたりすると一気に規制され、もともと自転車を楽しんでいた人たちが楽しめなくなってしまう。BMXコースを整備する話はいつごろ出てきたのか。どれほどのニーズがあるのか、試算などしているのか。資料を見るとBMXコースの利用者数は横ばいか減少傾向にある。秩父市では宿泊が増えているとのことだが、秩父は山の中にあるため宿泊が増えるのは当然のこと。つくば市は都内からも近いので日帰りの利用が想定される。そのためサイクリストの人たちが利用できるオートキャンプ場や車中泊ができる施設を造ったほうが良いと思う。

- 拙速に感じられたのは申し訳ないと思う。地域の皆様の活動は重要だと思っている。筑波東中学校に施設を整備したから地域が活性化するという考えはないことはお伝えしておきたい。

自転車拠点施設について、県全体で、りんりんロードが通る土浦から岩瀬の間に拠点がなかったという課題があった。拠点については、つくばの自転車を

盛り上げてくださった人たちにも積極的に活用をしていただきたい。BMXコースについても自転車の乗り方を広めることにより自転車マナーの向上につながると思う。これまで筑波地区に来たことがない人たちに北条の魅力を知っていただく玄関口にしたいと思っている。

全国のジオパーク拠点も集客は難しく、自転車拠点を組み合わせることにより相乗効果を持たせたいと考えている。自転車の拠点という広い意味で新たな繋がりが期待できるし、ロードバイクを乗る人にとってもBMXに乗ることで体の使い方等、プラスになると伺っている。宿泊については、大会等になれば2日間にまたがるので期待出来る。つくば市は立地的に宿泊客が少ないとなれば、どんな施設でも宿泊しないとなってしまう。宿泊以外でも地域に相乗効果をもたらすことは考えたい。BMXの利用者数は景気の影響を受けるようで、今コロナで景気が落ち込んでいるが、リーマンショックのときや東日本大震災のときも利用は減っており、経済状況と合わせて上向いていくと思う。地域の皆さんの活動も重要だと思っているので、地域の活動と拠点施設がどのようなつながりをもてるか、どういう取組が一緒にできるか、あるいはここに造る施設を皆様にどう活用していただくかが重要だと思っているので、地元で活動している皆様と話をしながら色々な機会にこの場所を利用していただきたいと思っている。

→□弱虫ペダルと、一緒に自転車施策を盛り上げられないかとの話を始めたのが昨年の8月で、自転車拠点整備やBMXの検討をし始めたのは10月からである。

→●廃校利活用の進め方として地域に受け入れられるものを地域と相談しながら造るということをこれまでの説明会で聞いていた。今回はほぼ決定している印象を感じている。地域で北条小を使いたいと提案しても水道が壊れているから使えないと言われる状況で、弱虫ペダルが運営にかかると7,500万円の補助金が取れるバランスの悪さには疑問を感じている。弱虫ペダルと地元のつながりは、サイクリストの間ではあるのかもしれないが、他はほとんどない。昨年10月に話が出てきたのであれば、説明会を開催する前に地元と弱虫ペダルをつなげたりする等、もう少しできることがあったと思う。

ジオパーク施設には人が来ないからBMXと抱き合わせるという考えも疑問である。ジオパークにも人が集まると思うし、ジオパークのツアーや自転車で回るツアーを行えば人が集まると思う。その可能性をもっと探るべきだと思う。

→○まちづくりは時間をかけて取り組むとの考えは私も同感で、周辺市街地の取組も含めて市が主体となって実施するものではない。BMXコースができればうまくいくとは決して思っていない。他のジオパーク施設を見たが現

実としてうまくいっている場所はないので、BMXと相乗効果を持たせたい。ジオパーク認定のときも頑張ったが、ジオパークを知ってもらわないと始まらないということがあって、そういった指摘に対してジオパーク室で色々な取組を行っているし、部会で検討もしている。BMXと組み合わせることによりジオパークを知るきっかけをつくることは必要だと思うし、ジオパーク施設に来た人が自転車の魅力を知ってもらうこともいいと思っている。BMXコースは新しい施設で違和感があるのだと思うが、あくまで自転車拠点施設が中心で、一つのコンテンツにBMXがあって色々な方向につなげていこうと思っている。弱虫ペダルサイクリングチームは、つくば市に拠点を置いているチームで、地域でカフェも経営していて、地域で練習もしており地域に恩返しをしたいとのことである。弱虫ペダルが地域に関心がないということではない。弱虫ペダルも地域に還元したいという思いでいるので、ぜひ皆様と話をしながらお互いの認識の違いを解消できればと思っている。

●ジオパーク施設の具体的な話がそろそろ出るかなと思っていたところに、急にBMXの話が出てきて驚いている。BMXの施設を整備するのは決まっていると感じており、本日の説明会が何のためにあるのか疑問を感じている。

ジオパーク施設について、人がリピートする施設にするのは難しいとの話は認識があり、サイクリングロードを活用した設備が必要との話はあった。BMXの話が出るまでにどのような施設整備する案が出ていたのか。また、BMXの運営形態について伺いたい。維持費用の検討はどのようになされたのか。

→○あくまでも自転車拠点施設があってそのコンテンツの一つがBMXである。注目を浴びるのがBMXのためそのような捉え方になるのだと思うが、これまでのロードバイクの皆様の利活用につなげていきたいと思っている。朝早くから駐車場が満杯とか、朝早くから走れる環境がないとかそういうことを解決していくために自転車拠点を整備し、そのための駐車場等も確保をしていくという流れの中にBMXがある。

廃校は、筑波東中学校に限らずどういう活用希望があるか調査を行ったが、筑波東中学校は経常的に事業を行う形態は出なかった。そのため、ジオパーク施設と自転車拠点施設と地域の皆様にも利用していただけるようなものを組み合わせていきたいと考えている。

費用については、BMXコースは土で整備されており修繕もスコップやユンボでできてしまう。維持管理費は多くかからないと認識しており、長期的に財政の負担になることはないと思うし、地域にもたらす効果のほうが大きいと思っている。公有地利活用推進課から、これまでの民間含めた利活用案について、補足ありますか。

→△これまでの経過として、庁内検討については資料のとおりジオパーク拠点施設、ファーマーズビレッジの誘致、社会体育施設への転用、秀峰筑波義務教育学校の駐車場の提案があり、民間事業者からはオートキャンプ場のような宿泊できる施設等の提案があった。しかし、用途地域(第一種中高層住居専用地域)の制限により宿泊施設は立地できないため検討が進まなかった。

●大会となるとBMXは接触が前提となるが救護体制はどうなっているのか伺いたい。コースの整備は外注できる予算はあるのか。本コースに入る前にはレクチャーを受けることが必要になると思うが、そのような体制はどのように考えているのか。

→◇救護体制は、関係機関とも協議しているが市内には病院も多く、他の地域に比べても充実していると認識している。整備については、月に1回ユンボを借りることを想定している。レクチャーを行うことは当然考えている。コースの監視員についても、他施設では0名で多くても1名体制だが、2人程度置き安心安全な環境を整えることを検討している。

以 上